

NPO 法人ザンビアの辺地医療を支援する会

ORMZ ニュース第85号 (H30.8.20)

事務局：宮崎市生目台西 4-7-7 (メール info@ormz.or.jp) 文責：日高良雄



はじめに

8月、熱波と台風(しかも変な進路の)、ゲリラ豪雨が各地を襲いましたが、皆様如何お過ごしでしょうか？

そんな中、17日には北海道で初雪が見られたとのこと、本当に不思議な天候の日本ですが、夜の散歩をすると虫の声があちらこちらから聞こえてきます。秋の気配を感じる今日この頃です。

今回のORMZニュースは、山元香代子先生の講演会や現地の巡回診療等の報告、現地の子どもの写真集、ザンビア日本大使館からの情報などです。

どうぞご覧ください。

講演会報告

・8月16日、宮崎日日新聞社、宮日文化情報センター主催による宮崎政経懇話会特別講演会として、宮崎観光ホテルで山元香代子先生の講演会が開催されました。「ザンビアの辺地での巡回診療活動」と題して、県内各地から集まった約200人の人々の前で多くのスライドを使いながら、活動報告をされました。

・巡回診療を始めた経緯や、医療の届かない人々への山元先生の熱い想い、マラリア対策のための現地スタッフの研修や住民への啓発、そして多くの寄附をいただいたことで、何より生活の基本となる安全な飲み水を提供するための井戸の掘削を行ってきたこと、さらにはマラリア蚊殺虫剤噴霧事業の実施など、現地のスタッフやボランティアとの共同で活動が実施できたことなど約1時間があっという間に過ぎ去りました。

・その後の質問では、活動の原点を問われ、先生が宮崎県勤務時代、県内でも最もへき地と言われる椎葉村(日本三大秘境の一つ)で診療に従事していた時のエピソードを披露されました。

・30年以上前、自治医大卒業生として勤務していた椎葉村国保病院で、あるお宅から連絡があり往診で伺ったところ、高齢のおばあさんが背中に大きなやけどを負って亡くなっていました。理由を聞くと孫が帰ってきたのでお風呂を沸かそうとした際に着物に火がついたとのこと、しかもすぐに病院に連絡せず我慢していたとのこと、このことが先生の想いの原点「自分のできる医療を精一杯提供しよう」になっているとのことでした。



現地活動報告（ザンビアより芦田様から）

◎7月25日 ルアノ巡回診療

同行者：ムレタさん、チブリカさん、メアリーさん、峠さん、ギルバート（レンタカー）

CHW：6人：マチラさん、マーティンさん、マンボさん、ハムサレさん、コンスタンスさん、
リネットさん

患者数： 67人 マラリア検査数 67人うち陽性2人、

主な症状： 腰痛、目の問題、下痢等

重篤なケース： 男性一人、手首骨折の疑い。チペンビへ行くように指示。

*道路状況： この所メイズや豆を輸送するトラックが通行しているせいで、道路状況が悪くなっている。より石が向きだしになっている状態。速度を落として通行。

*車両整備

エレファント：エンジンがかからず、トヨタにて車両チェックをすることになり、19日AMにトヨタへ車両を持ち込み。24日頃には最終的な結果を報告。

レンタカー： 25日の診療で借りた車両に、ルサカへ戻ってきてから異音がしたため、翌朝チェックしたところ、CVジョイント（等速ジョイント）が破損していたため購入し、交換。

*井戸の登録： Water Resources Management Authority (WARMA) という機関が担当していて、9月8日までに井戸の登録をする必要があり、費用は250K。250Kは1回だけ払えばいいとのこと。

◎8月1日 サングラ巡回診療

同行者：ムレタさん、チブリカさん、ボストンさん、メアリーさん、ニョニさん、ナマスムさん（チペンビ）、峠さん、ギルバート（レンタカー）、ダニエル（レンタカー）

CHW： 7人：マーティンさん、コンスタンスさん、ハムサレさん、サングラから4名

患者数： 57人 マラリア検査数 57人うち陽性9人、

主な症状： 咳、大腸感染症等（前回同様、マラリア陽性の多くはムルングシなどから来た人達）

重篤なケース： 1名（成人女性、手を中心に腫れがあり、チョングウェ病院へリファー）

*道路状況： 前回と同じだが、サパニからサングラへの道路を村人が整備中。

*次回のサングラ診療について： 前回患者数が少なかったのは大豆の収穫期だったためで、今回は約60人と増加している。CHWによると、ボーダーエリア（ムルングシ、リテタ）の人々は病気の人が多く、薬をもらいにくることが割と多かったとのこと。村長さんも継続を依頼しており次回の診療も実施。

*車両整備 レンタカー： 1台のタイヤがパンクしたので、メンディング

◎8月8日 ルアノ巡回診療

同行者： ムレタさん、チブリカさん、ボストンさん、メアリーさん、阪大の学生さん3名、ギルバート（レンタカー）、ダニエル（レンタカー）

CHW： 5人：マチラさん、マーティンさん、マンボさん、ハムサレさん、コンスタンスさん

患者数： 45人 マラリア検査数 45人うち陽性0人、

主な症状： 腰痛、咳、下痢3名等

重篤なケース： 6歳位の子ども、痩せていて食欲無し。栄養失調疑いのためHEPSやビタミン剤などを渡すと共に、チペンビへ行くように指示。祖母と暮らしていて十分に食べていない様子とのこと。

- *参加した学生さんたちは、それぞれ配置についてお手伝い。学生さんからメールにて、「普段大学で学んでいる医療とは全く異なる医療を体験できメンバー一同非常に有意義な時間を過ごすことができました。改めて感謝申し上げます。詳しくは体験談に書かせて頂きます。」とのこと
- *道路状況： 前回と同じく、トラックの通行により、石がむき出しになっている
- *車両整備：エレファント：車両チェックまだ完了していない

◎8月15日 ニャンカンガ巡回診療

同行者： ムレタさん、チブリカさん、メアリーさん、ギルバート（レンタカー）

CHW： 3人：モーゼスさん、エバリンさん、マチルダさん（他はお葬式に列席）

患者数： 51人 マラリア検査数51人うち陽性1人、

主な症状： 腰痛、咳等

重篤なケース： 無し

*道路状況： 通行には問題無し

*車両整備 エレファント：トヨタより連絡、センサー系に問題はなく、エンジン内部の修理が必要

子どもたちの写真



在ザンビア日本大使館情報（ホームページから）

無償資金協力 チパタにおける「第二次ルサカ郡病院整備計画」の起工式

6月21日、ルサカ郡チパタにおいて「第二次ルサカ郡病院整備計画」の起工式が開催されました。起工式には、榊原修一公使参事官、チルフヤ保健大臣、カパタ国土・天然資源大臣、花井 JICA ザンビア事務所長、伊藤(株)日本設計執行役員・医療施設設計部長、越智清水建設(株)ドバイ営業所長をはじめ約200人が出席しました。

本計画は、外来・入院患者棟等を建設し、必要な医療機材の整備することにより、カニヤマ、チャワマ、チパタのヘルスセンターを第一次レベル病院へ格上げすることを目的とし、日本政府は、39億800万円（約4億クワチャ）を限度とする無償資金を供与しました。

本協力により、各家庭の近くの病院で基礎的医療を受けることができる住民がさらに増えることにより、ザンビア大学付属教育病院（UTH）の混雑緩和等が実現します。

ザンビア州別区図



賛助会費の納入と寄附受領証明書の送付について

- ・平成30事業年度（事業年度は1月から12月）の賛助会費（個人一口5000円、団体一口10000円、一口以上）及びご寄附（金額は問いません）のご協力をお願いします。
- ・当法人は認定NPO法人であり、ご寄附（賛助会費含む）いただいた際には、翌年の確定申告で税制上の優遇措置を受けるための寄附受領証明書（賛助会費も寄附金と同様税控除の対象）をお届けします。
- ・ご不明の点は日高（info@ormz.or.jp）までご連絡ください。

★郵ちょ銀行からの振替 口座記号 01720-9 口座番号 126351
加入者名 NPO法人ザンビアの辺地医療を支援する会

★他の金融機関からの送金 郵ちょ銀行 店名：一七九、預金種目：当座、口座番号：0126351
加入者名 : NPO法人ザンビアの辺地医療を支援する会
カナ名称（全角）：トクヒ）ザンビアノヘンチイリョウヲシエンズルカイ

*これからもご支援のほどどうぞよろしくお願ひします